

# 《東京2020参画プログラム（教育分野）認証》 「医療英語・英会話」及び「スポーツ・ボランティア英会話」勉強会の 参加者数推移とアンケート調査解析（第2回集計結果報告）

大森 厚子

特定非営利活動法人医療英語学習支援協会

**【序文】**

2013年9月7日、「東京2020大会」の開催招致が決定した。当団体が任意団体として設立されたのも2013年である。同年9月に「医療英語・英会話」勉強会を開始し、2014年10月にはNPO法人として成立した。2015年9月、「スポーツ・ボランティア英会話（以下、スポ・ボラ英会話）」勉強会も開始した。2017年9月に、「東京2020参画プログラム（教育分野）」の認証を受けた。その後、アンケート調査を3か月間実施し、勉強会参加者の背景を解析して、第17回日本旅行医学会大会（2018年4月・東京）で発表する機会を得た。今回、第2回目の報告として、設立から2020年3月末まで、7年間に渡る勉強会の参加者数の推移と影響を及ぼすと想定される種々の要因との関連性を検討する。

**【内容】**

《目的》「東京2020大会」や「ラグビーワールドカップ2019（以下、RWC2019）」のボランティア募集、民間団体の「医療通訳士の資格試験・認定制度」等が、当団体勉強会の参加者数の推移や学習目的・動機に影響を及ぼしているか否か関連性を検討する。更に、初回アンケート調査時（2017年）とそれ以降2020年に至るまでの参加者の背景に差異があるか否かについても検討する。

《方法》参加者集計期間：2013年9月27日～2020年3月31日。  
対象：勉強会参加者（会員・非会員）。アンケート用紙配布期間：2017年11月30日～2020年3月31日。アンケート項目：

21項目（#1～#21）。

《結果》参加者総数：「医療英語・英会話」2,614名（2013/9月～2020/3月末）、「スポ・ボラ英会話」629名（2015/9月～2020/3月末）。

アンケート解析：無作為258名（2017年11月30日～2020年3月31日）。[#7職業]会社員：58名・教員：5名・医療従事者/職員：102名・学生/院生：15名・公務員/団体職員：10名・その他（主婦・退職者）：63名・無回答：5名[#21学習の目的・動機]（複数回答可）仕事に必要：93名・ボランティアに必要：75名・資格/試験のため：37名・生涯学習：135名・趣味/教養：58名・その他：18名。

《考察》「スポ・ボラ英会話」勉強会の参加者数が2017年に倍増した要因は、同年、ボランティア募集開始期日が、「RWC2019は2018年4月から」、「東京2020大会は2018年9月から」と発表されたことで、「スポ・ボラ英会話」学習に興味・関心のある参加者が集まったものと推察される。

**【結論】**

「スポ・ボラ英会話」勉強会参加者数の推移は、「RWC2019」や「東京2020大会」のボランティア募集の関連事業から影響を受け、短期的かつ直接的な学習目的であることが示唆された。「医療英語・英会話」勉強会の学習目的・動機は、資格試験等からは顕著な影響を受けず、生涯学習として長期的展望で継続学習していることが示唆された。